



2025 年 8 月 27 日

NANO MRNA 株式会社
代表取締役社長 秋永 士朗
(4571 東証グロース)
問合せ先 IR担当 土屋 千映子
電話番号 03-6432-4793

カイオム・バイオサイエンスとの mRNA エンコード抗体医薬創出に向けた共同研究契約締結のお知らせ

当社は、株式会社カイオム・バイオサイエンスと同社の Tribody[®]技術*を始めとする最先端の抗体創薬技術と当社の mRNA 創薬基盤技術の融合による mRNA エンコード抗体の創出に向けた共同研究契約を締結しました。

本共同研究では、1 年以内を目途に開発候補品を選定し、その後、開発候補品の in vivo でのデータ取得と物性面での最適化を経て知財化、および製薬企業との共同開発或いは導出を目指します。

mRNA エンコード抗体は、抗体の mRNA を投与し、体内で目的の抗体を産生させるという次世代の抗体医薬モダリティです。既存の技術に比べ、体内動態改善とそれに伴う効果の増強、副作用の軽減が期待されることに加え、製造コストの削減や製造期間の短縮も期待され、世界的に注目されています。海外では既に Moderna 社、BioNTech 社などが臨床開発を開始しており、BioNTech 社の Claudin 6-CD3 bi-specific mRNA エンコード抗体（開発コード：BNT142）については、半減期が大幅に伸びるなど優れた薬物動態プロファイルと顕著な薬効を示すことが今年の ASCO において発表され、革新的な医薬品技術になることが期待されています。

なお、本件による 2026 年 3 月期業績への影響はございません。日本のバイオベンチャーの有機的協業モデルから、スピード感を持って画期的な抗体医薬品候補を創出し、世界に発信してまいります。

* Tribody[®]技術

Tribody[®]は分子工学的手法により作製した複数の抗原に対する特異性を持つ多重特異性抗体で、1 つの分子の中に 3 つの異なる抗原結合部位があり、異なる機能を組み合わせることが可能となる技術です。BioNTech 社の BNT142 で用いられている抗体分子は Tribody[®]と類似した構造を有しています。

以上